

コンクリート劣化診断等に係る分析

資産管理のためのコンクリート劣化診断に必要な化学分析はお任せ下さい!!

高度経済成長期に整備された数多くの社会資本ストックが今、更新時期を迎えつつあります。老朽化した施設、構造物の耐用年数を把握し、その長寿命化を図るために劣化診断を正しく行うことが強く求められています。

当協会では、コンクリートの劣化診断や埋設物の腐食に係る化学分析を数多く行っており、お客様のご要望に応じ、信頼性の高いデータを提供します。劣化診断等に必要な化学分析はお気軽にご用命下さいますようお願い申し上げます。

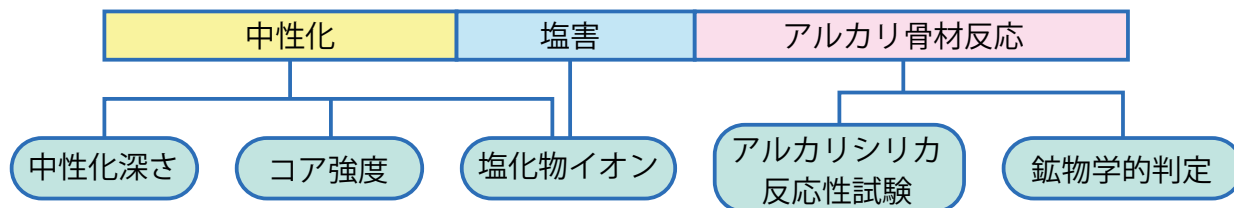


コンクリート劣化診断等の主な業務実績

- ・コンクリート構造物の健全性試験（一軸圧縮試験、中性化深さ、アルカリ骨材反応性試験など）
- ・塩害環境下におけるコンクリート橋の健全性評価業務（コンクリート中の塩化物イオン量測定など）
- ・埋設管周辺土壌の腐食性因子調査（土壌のpH、抵抗率測定など）

コンクリート劣化診断の分析

コンクリートの主な劣化機構



劣化指標	試験内容	試験方法
中性化深さ	コンクリートの中性化の進行確認	コンクリートの中性化深さの測定方法
コア強度	コンクリートの一軸圧縮強度の確認	コンクリートからのコアの採取方法及び圧縮強度試験方法に準拠
塩化物イオン	コンクリート中に含まれる塩化物の濃度の確認	硬化コンクリート中に含まれる塩化物イオンの試験方法（塩化物イオン電極を用いた電位差測定法または硝酸銀滴定法）
アルカリシリカ反応性試験（化学法）*	コンクリート中粗骨材のアルカリシリカ反応性の有無の確認	骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）に準拠
骨材の鉱物学的判定	コンクリート中に使用されている粗骨材の岩種判定	ASTM C 295-79 に準拠

*当協会は、アルカリシリカ反応試験（化学法）において ISO17025 の認証を取得しております。

腐食に係る土壌分析

鋼材やコンクリートに対する土壌の腐食性を評価するための分析を行っています。

● 項目

比抵抗（土壌抵抗率）、Redox電位（酸化還元電位）、硫化物、水分、塩化物イオン・硫酸イオン含有量、pH値（H₂O, H₂O₂） 他

● 方法

日本工業規格（JIS）、地盤工学会（JGS）、土壌環境分析法 等



土壌抵抗率の測定
（ソイルボックス法（土壌箱法））

その他

その他、コンクリート等に関する分析を行っています。

- 骨材（粗骨材・細骨材）の安定性、すりへり試験、粒形判定実績率 他
- セメント系改良材等六価クロム溶出試験、タンクリーチング試験
- 港湾等のコンクリート構造物の劣化モニタリング検討
- リサイクル骨材等の分析

お気軽にお問い合わせ下さい。



一般財団法人

九州環境管理協会

〒813-0004 福岡市東区松香台1-10-1

TEL 092-662-0410 FAX 092-662-0411（代表）

TEL 092-662-0964 FAX092-662-0990（調査分析部）

e-mail syougai@keea.or.jp URL <http://www.keea.or.jp/>

技術関係

：調査分析部 分析課

料金・見積関係

：総務部 渉外課

ホームページ <http://www.keea.or.jp>